

平成27年度旭川市病院事業会計決算の概要

平成27年度は、外来収益が前年度に比べ増加しましたが、入院収益は患者数が減ったことにより減少しました。また、費用の観点からは薬品のジェネリック化を加速させるなどの取り組みを行い薬品費が9,462万円減少しました。損益計算書における当年度純損失は4億2千105万5千円となります。

資金面では、資金残高が5億4千39万9千円になり前年度より約7億1千913万3千円減少しましたが、経営上の資金繰りに支障はなく、不良債務は発生していません。

平成27年度は地域包括ケア病棟の開設により更に質の高い医療を提供できる体制が整いました。今後も市民の方々へより良い医療サービスを提供できるよう一層の努力をして参ります。

1 平成27年度決算の内容

(1) 患者数

		(単位：人)		
区 分		予 算 a	決 算 b	増 減 b-a
入 院	延べ患者数	146,400	123,426	-22,974
	1日平均患者数	400.0	337.2	-62.8
外 来	延べ患者数	247,860	241,695	-6,165
	1日平均患者数	1,020.0	994.6	-25.4

(2) 収益的収入・支出（税込）

(単位：千円)

項 目	予 算 a	決 算 b	執行率 b/a(%)	備 考
病院事業収益	12,965,414	11,838,952	91.3	
医業収益	11,256,746	10,132,026	90.0	
入院	7,843,237	6,531,036	83.3	
外来	3,231,604	3,395,317	105.1	本院のほか、江丹別診療所を含む
その他	181,905	205,673	113.1	
医業外収益	1,437,575	1,434,655	99.8	一般会計負担金を含む
特別利益	271,093	272,271	100.4	
病院事業費用	13,085,002	12,259,367	93.7	
医業費用	12,680,336	11,850,394	93.5	江丹別診療所費用を含む
医業外費用	402,999	408,520	101.4	
特別損失	1	453	45,300.0	
予備費	1,666	0	0.0	

(3) 資本的収入・支出（税込）

（単位：千円）

項目	予算 a	決算 b	執行率 b/a(%)	備考
資本的収入	1,173,045	1,087,100	92.7	
企業債	357,000	279,000	78.2	
一般会計負担金	816,045	808,100	99.0	
資本的支出	1,809,916	1,711,337	94.6	
建設改良費	573,894	476,316	83.0	
企業債償還金	1,235,022	1,235,021	100.0	
予備費	1,000	0	0.0	

2 財務諸表

(1) 損益計算書

1年間の企業活動の経営成績を表します

（単位：千円）

事業年度 項目	平成26年度 a	平成27年度 b	増減 b-a
医業収益	10,206,050	10,115,247	-90,803
医業外収益	1,424,293	1,430,527	6,234
特別利益	164,604	272,271	107,667
収益計(7)	11,794,947	11,818,045	23,098
医業費用	11,548,880	11,711,272	162,392
医業外費用	537,347	527,375	-9,972
特別損失	3,286,788	453	-3,286,335
費用計(1)	15,373,015	12,239,100	-3,133,915
損益(7)-(1)	-3,578,068	-421,055	3,157,013

※平成26年度は地方公営企業会計制度改正により、一括して退職給付引当金等の計上が必要となり特別損失が大きく膨らんでおります

(2) 貸借対照表

年度末における財産の状態を表します。

(単位：千円)

事業年度 項目	平成26年度 a	平成27年度 b	増減 b-a
資産	13,251,284	11,571,055	-1,680,229
固定資産	10,279,072	9,505,652	-773,420
流動資産	2,972,212	2,065,403	-906,809
うち現金預金		172,406	172,406
負債	19,372,312	18,113,138	-1,259,174
固定負債	15,542,296	14,557,326	-984,970
流動負債	2,947,700	2,735,643	-212,057
繰延収益	882,316	820,169	-62,147
資本	-6,121,028	-6,542,083	-421,055
資本金	9,925,406	9,925,406	0
剰余金	-16,046,434	-16,467,489	-421,055
うち利益剰余金	-16,270,651	-16,467,489	-196,838

3 経営状況（主な財務指標）

(1) 損益

損益計算 平成27年度純損益 -4億2千105万5千円

平成26年度の純損失35億7千806万8千円から平成27年度は4億2千105万5千円の純損失と収支は改善しましたが、黒字への転換には至りませんでした。

(2) 資金収支・資金残高

資金収支計算 平成27年度収支 7億1千913万3千円収支不足

資金残高 平成27年度末残高 5億4千39万9千円

資金残高は、流動資産と流動負債（企業債を除く）の差で表され、マイナスになると不良債務の発生につながります。資金収支は、前年度と今年度の資金残高の増減で実質的な収支状況を表します。

平成27年度の資金収支は前年度より4億4千509万5千円改善しましたが、大幅な収支不足に変わりはありません。不良債務は発生しておりませんが、資金残高は直近2カ年で約19億円減少し、予断を許さない状況となっております。

(3) 資金不足比率

資金不足比率は、資金不足の状況を表し、次の式で算出されますが、当院においては資金が確保されており、資金不足額が発生していないため算定されません。

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金不足額}}{\text{事業の規模}} = \frac{-540,400\text{千円}}{10172456\text{千円}} = \text{資金不足なし}$$